





備前焼のルーツ須恵器の山陽地方最大の窯跡群

寒風古窯跡群



指定区分	国指定史跡
読みかた	さぶかぜこようせきぐん
所在地	瀬戸内市牛窓町長浜
指定年月日	昭和61年2月5日
解説	<p>山陽地方最大の須恵器(すえき)窯跡群である邑久古窯跡群(おくこようせきぐん)の南端部に位置する。7世紀から8世紀にかけて操業していたと推定されている。出土遺物の製作法は非常に優れているものが多く、平城宮跡からも本窯産の須恵器が出土している。寺院に用いる鴟尾や硯なども製作されており、単なる地方の窯ではなく官に関わる窯であると考えられている。須恵器は吉備地方における須恵器編年の標識にもなっており、学史上に高い価値を有する。この須恵器が現在の備前焼に発展したといわれている。</p>
アクセス方法	JR邑久駅から約5.8km
公開状況	自由
設備	<p>  駐車場   障害者用駐車場   トイレ   障害者用トイレ                 </p>
備考	<p>【寒風陶芸会館】(展示・陶芸教室等)休館:月曜日(祝日の場合は翌日) / 入館無料 / 問:0869-34-5680</p>

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	寒風古窯跡群
よみかた	さぶかぜこようせきぐん
しょざいち (所在地)	瀬戸内市牛窓町長浜
していつひ (指定した日)	昭和61年2月5日
せつめい	須恵器(すえき)という焼(や)きものの窯跡(かまあと)です。規模(きぼ)は山陽地方(さんようちほう)で最大級(さいだいきゅう)です。役人(やくにん)のための焼きものも数多(かずおほ)く焼いていたようです。須恵器は岡山県を代表(だいひょう)する焼きものである備前焼(びぜんやき)に発展したといわれています。